

イモビライザーシステム タッチタイプ[®] MODEL 46-AS2001

取付／取扱説明書

このたびはツーフィットの製品をお買いあげ頂き、ありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本「取付／取扱説明書」をよくお読みください。なお、お読みになった後もお手元におき、ご活用ください。

本製品の特徴

このイモビライザーシステムは予め設定されたイモビキーを専用ソケット（タッチスイッチ）に接触させるとことにより、エンジンを始動させることができるシステムです。セキュリティがセットされている状態では、万一、車内に侵入されてもエンジンがかからないため車の乗り逃げや盗難を防ぎます。

- タッチキータイプはイグニッションOFFにすると自動的にセキュリティがONに！
- OFFにしたい時はイモビキーをコントロールパネルに接触させるだけ。
- イモビキーは最大3個まで追加可能！
- イモビライザーが付いていないお車にお手軽にその機能を追加！

目次

1 安全上の注意	P 2	4 内容物一覧	P 4
2 使用上の注意	P 3	5 取付要領	P 5
3 取付に必要な工具	P 3	6 操作方法	P 7

1 安全上の注意

本製品は安全に十分配慮した設計／製作を行っております。しかし、電気製品は取扱方を間違えたまま使用すると、火災やショート、感電などにより、思わぬ事故を招くことがあります。また、取付の際も注意を怠ると、部品や使用する工具などにより思わぬ怪我をすることがあります。事故を未然に防ぐため、次の点をお守りください。

表示区分の説明



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うなどの危険の発生が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



警告

- 配線の切断／接続時には、銅線の先端の取扱に十分注意してください。むき出しの銅線の先端が指先等に刺さり思わぬケガをすることがあります。
- 取り付け後、製品が正常に作動しない場合は、再度、配線状態を確認し、誤配線があれば正しくやり直してください。配線が正常にもかかわらず作動しない場合、通電をやめて再度配線を確認してください。
- 本製品は12V専用に作られています。24V仕様ではお使いになれません。また、家庭用コンセント等には絶対に接続しないでください。
- 取付作業前に必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を接続したままの取り付けはショートや感電など重大な事故につながります。
- ※. バッテリーマイナス端子を取り外す際、消えると困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取付完了後に再入力してください。
- 本製品の分解や改造は絶対に行わないでください。保証・サービスの対象外となります。



注意

- 製品を本来の目的外に改造された場合や外国で使用した場合の責任は一切負いません。
- 本製品は原則として、開封後の返却には応じられません。また、取り付けの際、万が一、製品及び車両の破損、事故、作業中のケガ等が発生しても当社は一切責任を負いません。取り付けの際は十分注意してください。
- 本製品は自動車のみを使用してください。付属品以外のアクセサリーを使用すると本製品にダメージを与えたり、事故の原因となりますのでおやめください。

2 使用上の注意

- 急ブレーキ等の振動、揺れでメインユニットが飛ばないように車に固定してください。
- 配線は手や足が引っ掛からないような位置に行ってください。
- 本体は水に濡れないよう十分注意してください。水は電気回路を傷める原因になるだけでなく感電する恐れもあります。
- 本体を高温や直射日光の当たるところに置かないようにしてください。各電気パーツの寿命を縮めるだけでなく、本体樹脂が歪むおそれがあります。(耐熱-20℃~+60℃)
- 製品を落とさないよう気を付けてください。落下によって製品が正常に操作できなくなることがあります。また、製品の寿命を縮めることにもなります。
- 本体が破損したり、煙や焦げた臭いがしたら、直ちに通電をやめて再度配線をチェックしてください。

3 取付に必要な工具

本製品の取り付けにあたり、次のような工具及び部材を別途ご用意ください。

工具

ドライバー (+/-)、小型ドライバー、スパナ、メガネレンチ、内装外し、ニッパー、ラジオペンチ、電工ペンチ、電動ドリル、ハンダコテ、ハンドテスター(検電ランプ※注.)



注意

※注. 検電ランプでも分岐・接続する信号の検出は可能ですが、車種によっては出力される電圧を正確に見極める必要が生じます。その場合、ハンドテスターをご用意ください。

部材



ギボシ端子(オス/メス)
オス用スリーブ、メス用スリーブ



クワ形端子



エレクトロタッパ



注意

※. 配線の接続作業は、接触不良やあとで緩んだりしないよう圧着端子の利用が原則です。また、イグニッション配線をカットして接続する際は、確実に接続できるようハンダ付けすることをおすすめします。

4 内容物一覧

取付作業前に、部品がすべて揃っているかの確認を行ってください。



イモビシステム
コントロールユニット



スターターカット・
電源入力ハーネス



タッチスイッチ



イモビキー



スペアイモビキー
(オプション)



・ネジ(タッチス
イッチ固定用)
・圧着接続端
子
・タイラップ

スペック

■メインユニット

サイズ : 105×60×33mm
重量 : 95 g
電源 : 12V (最大13.6 ボルト)
耐熱温度範囲: -20℃~60℃
待機時消費電流: 8mA

■タッチスイッチ(受信部)

サイズ : 70×28×16mm
重量 : 40 g

■イモビキー

サイズ : 36×29×13mm
重量 : 10 g

5 取付要領

イモビライザーシステム タッチタイプ接続概略



⚠ 注意

車両および本機を破損させたり、取付時に怪我をしないよう、必ずバッテリーのマイナス端子を外してから取付作業を行ってください。

● 6 極ケーブル

青 スターターカット線/p6-①

黄 スターターカット線/p6-①

白 イグニッション線/p6-②

赤 常時電源/p7-③

黒 アース/ボディアースへ

● 4 極ケーブル

黒

黒

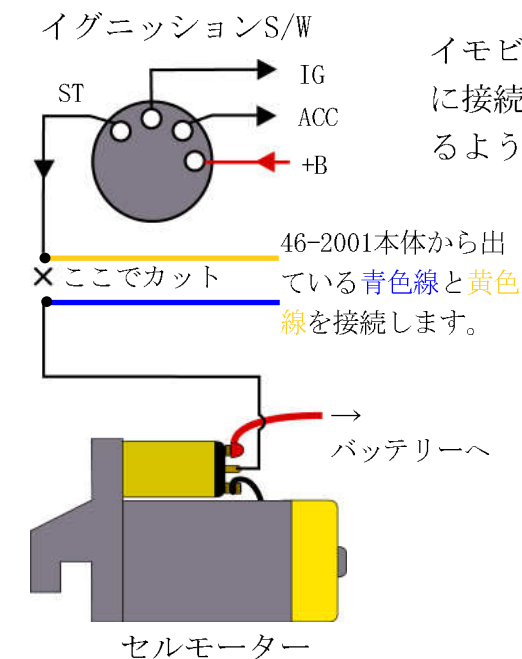
黒

青 タッチスイッチ/p7-④



① スターターカッターの結線

スターターカット線(青色、黄色)



イモビ機能を作動させるための配線で、イグニッションキーに接続されているスターター線(ST)をカットし、割り込ませるようにスターターカット線(青色、黄色)を接続します。

★ワンポイント★



イグニッションキーハーネスのスターター線(ST)の判別が付かないときは、セルモーターに取り付けられているスターターリレーの制御線位置で割り込ませても、同様に機能させることができます。

● スターターカット線の結線方法

①車両のインパネロアパネル及びコラムカバーを取り外します。

※. 外し方は車種によって異なりますので、お分かりにならない場合は直接ディーラー等でお訪ねください。

②キーシリンダー配線からスターター線を選定します。

キーシリンダーに接続されているハーネスに取付られた配線カプラの中から、テスター等を使用してキーをスターター位置まで回したとき12Vが出力される線を見つけます。

③スターター線をカットします。

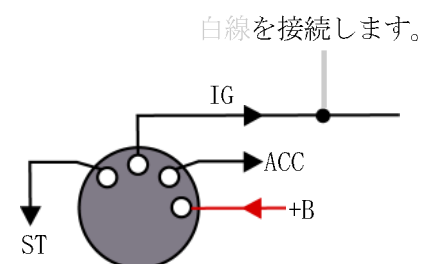
配線取り回しおよび接続作業がしやすい位置でスターター線をカットします。

④切断したスターター線にスターターカット線を接続します。

46-2000本体から出ている黄色線を切断した車両側スターター線のキーシリンダーからの線に、本体からの出ている青色線をセルモーターへの線にそれぞれ接続します。

② イグニッション線の結線

イグニッション線(白色)



①キーシリンダー配線からIG線を選定します。

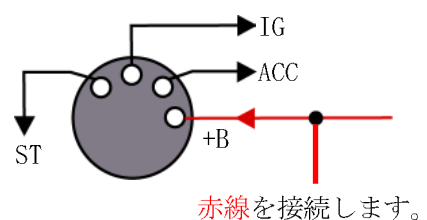
キーシリンダーに接続されているハーネスに取付られた配線カプラの中から、テスター等を使用してキーをIG位置まで回したとき12Vが出力される線を見つけます。

②分岐してイグニッション線(白色)を接続します。

配線取り回しおよび接続作業がしやすい位置でIG線を分岐し、イグニッション線(白色)を接続します。

③常時電源線の結線

常時電源線(赤色)



- ①キーシリンダー配線から常時電源を選定します。
キーシリンダーに接続されているハーネスに取付られた配線カプラの中から、テスター等を使用してキーを抜いても12Vが出力される線を見つけます。
- ②分岐して常時電源線(赤色)を接続します。
配線取り回しおよび接続作業がしやすい位置で+B線を分岐し、常時電源(赤色)を接続します。

④タッチスイッチの取付

4極カプラー(青、黒×3)

コラムカバーなど、運転席に座った状態でタッチキーを容易に接触することができる任意の場所にタッチスイッチを取り付けます。そして、イモビシステムコントロールユニット本体のところまで配線を取り回し、本体に4極カプラーを接続します。

6 操作方法

●イモビライザー(防犯モード)セット

イグニッションキーをOFFにし、イモビキーをタッチスイッチのソケットに接触させます。本体のブザーが1回鳴り、キーを回してもエンジンは始動できなくなります。

★パッシブアーミング

イグニッションキーをOFFにするとLEDが速く点滅します。その状態で60秒以内にイグニッションキーをONもしくはSTARTのポジションに入れないと、自動的に防犯モードに設定されます。

●イモビライザー(防犯モード)解除

イグニッションキーをONすると、システムは自動的に60秒間コード認識モードに設定されます。その60秒以内に、認識コード化されたイモビ・キーをタッチスイッチのソケットに接触させます。イモビ・キーのコードが、予めリードメモリーに登録されたコードと一致すれば、本体のブザーが2回鳴り、エンジンを始動できる状態になります。

★オートリアム

イモビライザー解除後、60秒以内にイグニッションキーをONもしくはSTARTのポジションに入れないとLEDが速く点滅し、自動的に防犯モードに設定されます。

●バレットモード(一時的解除)

洗車や修理等で第三者に車を預ける場合、一時的に「パッシブアーミング」の機能を解除することが可能です。

バレットモードの設定

イグニッションキーをONもしくはSTARTのポジションに入れ、イモビキーをタッチスイッチのソケットに接触させます。バレットモード(一時的解除)の設定が確認されると、長いブザー音が1回鳴ります。

バレットモードの解除

イモビキーをタッチスイッチのソケットに接触させます。バレットモードが解除されて「パッシブアーミング」に設定されるとLEDがグリーンに変わります。

●エマージェンシーオーバーライト(強制解除)

万が一イモビキーを紛失した場合、10秒間に8回、イグニッションキーのON/OFFを繰り返す(インターバルは1秒)ことにより、リセットすることが可能です。なお、システムのリセット後、イグニッションがOFFになって60秒経過するとシステムは自動的に防犯モードにセットされます。

その他のセルフ機能

★イグニッションセンサー

システムが防犯モードにセットされている状態で、イグニッションキーをONのポジションに入れると警告音が30秒間なります。

★未確認キーへのセルフディフェンス

「パッシブアーミング」モードが設定されるまでの間に、未確認のキー(未登録キー)がソケットに触れると、システムは直ちに防犯モードにセットされ、エンジンが始動できなくなると共に30秒間警告音が鳴ります。

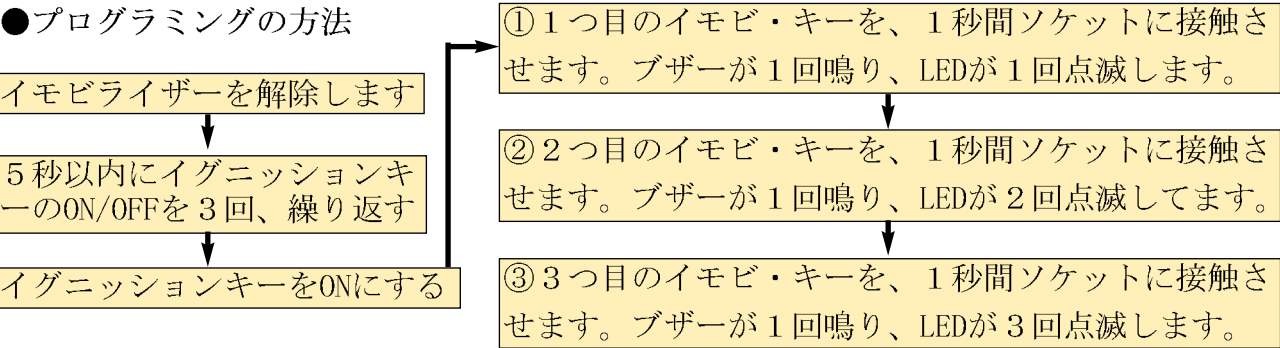
★ステータスメモリー

電源をOFFにしても、メモリー機能により電源を切る前のモードを記憶します。本体もしくはバッテリーの電源を切っても、電源を入れた時にはシステムは自動的に元の状態(電源を切る前の状態)を保っています。

●イモビ・キーの追加(プログラミング)

イモビ・キーは3つまでプログラムすることが可能なため、スペアイモビ・キーを2つ追加できます。追加用のスペアイモビ・キーは1つ¥1,800(税込み)です。

●プログラミングの方法



イモビ・キーのプログラミングが完了したら、イグニッションキーをOFFにします。その後、10秒以内に新たなキーのプログラミングを行わなければ、自動的にプログラミングモードは終了します。

LEDの表示説明

モード	LEDの状態
防犯モード	2秒間に1回点滅
パッシブアーミング	1秒間に10回点滅

操作時のブザー音

1回	イモビライザーセット
2回	イモビライザー解除
1回(長い)	コード組み込み

動作しない場合に考えられる原因

●ボディアースがきちんとアースに落ちていない

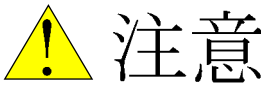
本体ユニットのアース線(黒線)を金属面にねじ込まれた既存のねじやボルトに接続していた場合、固定されている金属面がバッテリーのマイナス端子に確実に繋がっているか確認(導通テスト)してください。車内に取り付けられている金属プレート面は樹脂パーツに固定されていたり、取付ネジが塗装で絶縁されたり電気が流れにくくなっているケースが多々あります。ですので、アース不良の場合はバッテリーのマイナス端子に直接、接続してみてください。

●車両側常時電源の電圧不足

バッテリーが弱っていないか、また常時電源を分岐した配線から12V以上(バッテリーが正常で元気な状態なら、エンジンを停止している状態でも12.5V以上の電圧を発生一します)の電圧が出ているかハンドテスターを使用して確認してみてください。

●常時電源(12V)が本体ユニットに通電していない

常時電源線(赤線)が確実に接続されているかどうか。赤線に取り付けられているヒューズが切れていないか確認してください。



注意

※. 本説明書をお読みになって取付について理解できない方は、専門の取付業者へ取付をご依頼くださることをおすすめします。配線ミスをされますと製品か車両を損傷させることがあります。



本製品は生産後及び出荷前にダブル動作チェックをし、万全の状態でお客様にお届けしております。取り付けに関しましても、この説明書をよくお読みになって破損や事故のないよう十分注意していただくようお願い申し上げます。

ツーフィット株式会社 〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町5-75-1 www.to-fit.co.jp